京都市高齢者施策推進協議会		
第1回(R5.6.27)	参考1	

# 令和5年度 京都市高齢者福祉関連予算の概要等について

## 1 高齢者福祉関連予算の規模

一般会計	令和 5 年度予算	令和 4 年度当初予算	対前年度増減	
一	71年10年及了异	〒和4 <b>十</b> 及ヨ初了昇	増減額	増減率
健康長寿推進※	616 億 1 千 3 百万円	588 億 2 千 7 百万円	27 億 8 千 6 百万円	4.7%

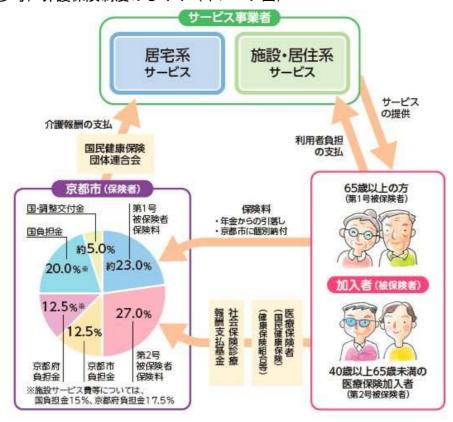
※介護保険事業特別会計繰出金後期高齢者医療特別会計繰出金50億1千6百万円含む

特別会計	<b>今和『年帝圣</b> 質	今和 4 年	対前年度均	曽減
村別云司	令和 5 年度予算	令和 4 年度当初予算	増減額	増減率
介護保険事業	1,613 億円	1,573 億 9 千 8 百万円	39 億 2 百万円	2.5%
後期高齢者医療	257 億 7 千 1 百万円	247 億 4 千 7 百万円	10 億 2 千 4 百万円	4.1%

# (参考) 介護保険事業特別会計予算の概要

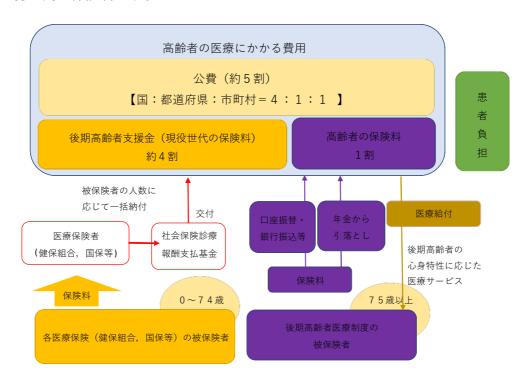
項目	令和 5 年度予算	令和 4 年度当初予算	差引
保険給付費等	1,503 億 6 千 9 百万円	1,466 億 6 千 8 百万円	37 億 1 百万円
地域支援事業費	72 億 8 千 6 百万円	72 億 4 千 2 百万円	4 千 4 百万円
事務費その他	36 億 4 千 5 百万円	34 億 8 千 8 百万円	1 億 5 千 7 百万円
合 計	1,613 億円	1,573 億 9 千 8 百万円	39 億 2 百万円

#### (参考) 介護保険制度のしくみ (イメージ図)



(参考)後期高齢者医療制度のしくみ (イメージ図)

後期高齢者医療にかかる費用の約5割は公費負担、約4割は現役世代からの支援金で賄われ、残りの約1割が保険料です。



#### 2 京都市民長寿すこやかプランに掲げた施策・事業に係る主な予算(案)

(主な新規・充実事業等)

重点取組1:健康寿命の延伸に向けた健康づくり・介護予防の推進

#### <取組方針>

- フレイル対策を含む保健事業と介護予防の一体的な実施など、健康寿命の延伸に向けた取組を進め、ひいては介護保険料の伸びの抑制につなげます。
- 自宅でもできる取組の紹介など、ウイズコロナ社会に対応した介護予防・フレイル対策(①運動、②栄養・口腔、③人とのつながり)の普及促進を図ります。
- 新型コロナウイルス感染予防の観点から、「新しい生活スタイル」を踏まえつつ、健康 長寿サロンや介護予防自主グループ等の地域に根差した多様な「通いの場」の取組を一 層推進し、地域や人とのつながりの中での継続的な健康づくり・介護予防につなげます。
- 高齢者が地域活動の担い手として活躍できるよう、また社会の担い手として企業等で働き続けられるよう、支援や啓発等に努め、高齢者自身のやりがいと介護予防、地域・社会への貢献につなげます。

#### 事業名等

# 

## 高齢者インフルエンザ予防接 種の接種環境の充実

#### 【充実】

全体事業費 10 億 8,547 万円 (うち充実分 1 億 1,363 万円) 特定財源 0 万円 新型コロナウイルス感染症の発生以来流行がなかった季節性インフルエンザが今冬は3年ぶりに流行し、インフルエンザはもとより、新型コロナウイルス感染症との同時流行が新たに顕在化してきている。

容

このため、 $65 \sim 74$ 歳の前期高齢者に比べ重症化率が約5倍も高くなっている75歳以上の後期高齢者の自己負担額を1,500円から1,000円に軽減するとともに、重症化リスクの高さやワクチンの効果について、一層啓発することにより、更なる接種率の向上を図り、高齢者の命と健康を守る取組をより強化する。

区 分	令和4年度
75歳以上 65~74歳	1,500円
生活保護等 受給者	無料



敬老バス回数券交付事業及び 民営バス敬老乗車証の適用地 域の拡大

#### 【充実】

全体事業費 57 億 3,651 万円 (うち充実分 9 億 327 万円) 特定財源 15 億 8,733 万円 令和4年10月から実施している、負担金の改定等の制度の持続可能性を高めるための見直しにより生み出す財源の一部を用いて、令和5年10月から、制度の利便性を高めるための見直しとして、敬老バス回数券の新設、民営バス敬老乗車証の適用地域の拡大を実施する。

#### 重点取組2:地域で支え合う地域共生のまちづくりの推進

#### <取組方針>

- 地域共生社会の実現に向けて、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を目指し、関係機関と地域住民とが共に取り組む仕組みづくりを進めます。
- 引き続き認知症の早期発見・早期対応に取り組むとともに、認知症バリアフリー社会の実現に向けて、認知症サポーターの養成等を通じて認知症に関する正しい理解を広めるとともに、認知症サポーターが認知症支援において活躍できる仕組みづくりに取り組みます。
- 〇 増加する一人暮らしの方はもとより、「8050問題」等の複合的な課題を抱える方々 も含め、様々な要援護高齢者を必要な支援につなげていきます。
- 地域支え合い活動創出コーディネーターの活動等を通じて、これまでの取組で大きく 進展した居場所の立ち上げに加え、買い物支援等の高齢者の日常生活に密接に関わるサ ービスの創出にも取り組んでいきます。
- 生涯にわたり本人の権利や意思が尊重されるよう,日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用はもとより,「人生の終い支度」の普及・啓発等を促進します。

#### 事業名等

#### 内 容

# 民生児童委員活動支援事業 【充実】

全体事業費 1,470 万円 (うち充実分 950 万円) 特定財源 166 万円 地域福祉を推進する民生児童委員(老人福祉員を含む。以下同じ。)が、安心して、安定的・継続的に活動していけるよう、民生児童委員の活動に必要な知識や技術等の向上を支援し、地域の特性に応じた民生児童委員活動の充実を図るとともに、活動の不安や負担感等の軽減に取り組む。

具体的には、新たに民生児童委員活動支援員(1名)を配置し、関係福祉団体と連携しながら、民生児童委員活動のノウハウや先駆的・特徴的な取組を蓄積するとともに、日々の対応に関する悩みや困難な課題を抱える学区民生児童委員協議会等からの相談に応じ、助言や対応支援等を行う。

同時に、参考となる取組や相談支援の好事例を、研修の開催等にあわせて他学区にも紹介することで、活動の底上げを図る。

また、平時から民生児童委員活動の把握等を行うとともに、民生児童 委員制度について、積極的に情報発信等を行い、市民への周知・啓発を 進めることで、担い手の確保につなげていく。

## 総合的な権利擁護の取組の 推進

#### 【充実】

全体事業費 4,871万円 (うち充実分 1,400万円) 特定財源 462万円 これまでから、認知症高齢者等が増加する中で、一層高まる成年後見制度の需要に対応するため、制度を必要とする方々の相談からその利用までの一貫した支援を京都市成年後見支援センターにおいて行ってきた。

令和5年度からは、同センターに、新たに職員を2名配置し、日常的な金銭管理等の支援を行う日常生活自立支援事業から成年後見制度への円滑な移行を支援する。併せて、成年後見制度の更なる普及啓発・利用促進や、増加する成年後見制度に関する相談に適切に対応し、総合的な権利擁護の取組の推進を図っていく。

#### 重点取組3:住み慣れた地域で暮らし続けるための住まい環境の確保と支援の充実

#### <取組方針>

- 地域ケア会議等を軸として、日常生活圏域を構成する学区単位できめ細かく取り組む 「京都市版地域包括ケアシステム」づくりに引き続き取り組みます。
- 高齢サポートが地域支援の中核機関としての役割を一層発揮していくため、地域で協 働する関係機関等との連携強化を図ります。
- 在宅医療・介護連携支援センターの活動等を通じて多職種による在宅医療・介護の提供体制の強化に取り組みます。
- 高齢者個人の生活課題に対して、その課題の背景にある要因を探り、個人と環境に働きかけられる介護人材を育成し、今後の高齢化の進展等に伴って増加するニーズに適切に対応できる体制の強化を図ります。
- 24時間対応型の在宅サービスや、地域に根差した小規模な施設・居住系サービスの 重点的な整備等、引き続きできるだけ身近な地域での介護サービス基盤整備を進めると ともに、高齢期の住替えについての選択の幅を広げるため、多様なすまいの集積とすま い・生活支援事業等のサービスの充実に努めていきます。
- 若年人口の減少に伴う担い手不足に対応していくため、関係団体と連携し、介護職の 社会的評価を高めるとともに、ICT・IoTの活用等による介護現場の生産性向上や、外国 人介護人材をはじめとする介護の担い手の裾野拡大を促進します。

事 業 名 等	内 容		
介護基盤等整備助成	令和5年度は、第8期京都市民長寿すこやかプランに定める整備目		
173,039 万円	標の達成に向け、特別養護老人ホーム7か所(新設6か所、増設1か		
	所)の整備助成を実施するほか、認知症高齢者グループホーム2か所、		
	小規模多機能型居宅介護拠点1か所、定期巡回・随時対応型訪問介護		
	看護事業所1か所、特別養護老人ホーム多床室プライバシー保護改修		
	2か所、高齢者福祉施設非常用自家発電設備1か所の整備助成を実施		
	する。		
	また、認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援及び介護施設等		
	の創設に伴う広域型施設の大規模修繕及び大規模修繕に合わせて行う		
	ICT 導入事業等を行う。		
(内訳)			
1 特別養護老人ホーム	1 特別養護老人ホーム整備助成		
12 億 2,642 万円	広域型		
(特定財源:11億4,734万円)	(新設) 3か所		
	1か所分(120人分、短期入所10人分併設)		
	「京都山科すみれ園(仮称)」		
	定員 120人		
	場所 山科区四ノ宮芝畑町		

「特別養護老人ホーム京・みやこ (仮称)」

定員 80人

(認知症高齢者グループホーム9人併設)

場所 下京区西七条八幡町

(増床) 1か所「特別養護老人ホーム宝生苑」定員 29人→89人場所 伏見区桃山町山ノ下

#### 地域密着型

(新設) 3か所2か所分(58人分、短期入所20人分併設)

「洛和ヴィラ桃山Ⅲ番館(仮称)」 定員 24人(短期入所20人併設) 場所 伏見区桃山町大島

# 2 認知症高齢者グループ ホーム

8,738 万円

(特定財源:8,738万円)

#### 2 認知症高齢者グループホーム整備助成

(新設) 2か所

「すないの家西賀茂グループホーム (仮称)」

定員 27人

場所 北区西賀茂榿ノ木町

「グループホーム京・みやこ (仮称)」

定員 9人

(広域型特別養護老人ホーム80人併設)

場所 下京区西七条八幡町

# 3 小規模多機能型居宅介 護拠点

3,870万円

(特定財源:3,870万円)

#### 3 小規模多機能型居宅介護拠点整備助成

(新設) 1か所

「せんしゅんかい小規模多機能型居宅介護事業所桃の木(仮称)」 場所 伏見区銀座町

## 4 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護事業所

1,400 万円

(特定財源:1,400万円)

#### 4 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所整備助成

(新設) 1か所

「吉祥院老人デイサービスセンター (仮称)」

場所 南区吉祥院砂ノ町

## 5 特養多床室のプライバ シー保護改修

5,660万円

(特定財源:5,660万円)

# 6 認知症高齢者グループ ホーム等防災改修等支援

1億1,402万円

(特定財源:1億1,402万円)

# 7 高齢者福祉施設非常用自家発電設備整備助成

3,360万円

(特定財源:2,230万円)

# 8 介護施設等の創設に伴 う広域型施設の大規模修 繕及び大規模修繕に合わ せて行うICT導入事業

7,590万円

(特定財源:7,590万円)

# 9 多床室の個室化・簡易 陰圧装置等設置助成事業

8,377 万円

(特定財源:8,377万円)

# 介護施設等サービス継続支援事業 (新型コロナウイルス感染症対策)

3億5,400万円

(特定財源:3億5,400万円)

#### 5 特別養護老人ホーム多床室のプライバシー保護のための改修支援

2か所

「特別養護老人ホーム梅津富士園」

場所 右京区梅津尻溝町

「特別養護老人ホームフジの園」

場所 伏見区深草泓ノ壷町

#### 6 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援

施設名称	場所
地域密着型介護老人福祉施設きたおおじ	北区紫野大徳寺町
洛和グループホーム勧修Ⅱ番館	山科区勧修寺西金ケ崎
洛和小規模多機能サービス山科西野	山科区西野広見町
洛和グループホーム西院	右京区西院日照町
洛和グループホーム花園	右京区花園猪ノ毛町
洛和小規模多機能サービス西院	右京区西院日照町
洛和小規模多機能サービス花園	右京区花園猪ノ毛町
グループホームリエゾン羽束師	伏見区羽束師古川町
小規模多機能ホームリエゾン羽束師	伏見区羽束師古川町

#### 7 高齢者福祉施設非常用自家発電設備整備助成

施設名称		場所	
養護老人ホーム	愛宕ゆうこうの郷	右京区嵯峨樒原宮ノ上町	

# 8 介護施設等の創設に伴う広域型施設の大規模修繕及び大規模修繕 に合わせて行う I C T 導入事業

1か所

「洛和ヴィラ桃山」

場所 伏見区桃山町大島

#### 9 多床室の個室化・簡易陰圧装置等設置助成事業

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、高齢者施設等において、多床室の個室化、簡易陰圧装置の設置における経費を助成する。

感染拡大防止対策を講じ、必要な介護サービスを継続して提供するために必要な経費を補助する。